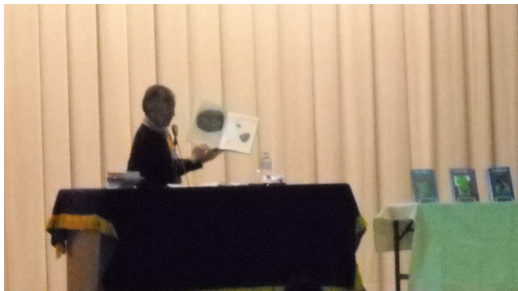


(12) 読書の啓発に関わる取り組み、講演会

「本はこわいぞ、おもしろいぞ」講演会

荒川区立第九中学校図書館 編



実践事例	
1	対象(年齢・学年)等 : 中学校全学年
2	実施時期 : 平成23年11月25日(金)
3	概要 : 読書の楽しさ、奥の深さを生徒に伝えるために、読書週間の一環として翻訳家・評論家である清水眞砂子先生を講師にお迎えして講演会を実施した。
4	内容 ① 朝の読書や国語の時間に、「ゲド戦記」など清水先生の翻訳された児童書を紹介。本の内容を紹介した印刷物を配布した。 ② 校内掲示コーナー3か所に清水先生の本を紹介する掲示をした。 ③ 学校図書館内に、清水先生の本の展示コーナーを作った。 ④ 講演で紹介する本のリストをリーフレットにして配布した。 ⑤ 全校生徒が講演「本はこわいぞ、おもしろいぞ」を体育館で聞いた。 ⑥ 講演後、生徒は教室で感想を書いた。 ⑦ 講演後、講師を囲んで教職員と本校図書ボランティア、その他参加希望者が懇談会を実施した。   
5	参加者の反応 ・講演会后、さっそく講演で紹介された本を借りに来た生徒がいた。 ・生徒からは、「自分のストライクゾーンを広げて、賢い人になりたい」「本をていねいに読みたい」「本をじっくり読んで、いろいろなものさしをみつけない」「誰かの普通が自分の普通じゃない・・・そんなことを気付かせてくれた」等の感想が聞かれた。
6	連携した諸機関 荒川区立町屋図書館（学校で所蔵していない清水眞砂子氏の著書・講演で紹介された本を借用）